

# 令和5(2023)年度 高知県 県民経済計算の概要(要約版)

## 1. 概要

名目は3年連続のプラス成長、実質は2年ぶりのプラス成長

- ・県内総生産は、名目で2兆4,535億円(前年度比+600億円)、実質で2兆3,007億円(同+38億円)
- ・経済成長率(県内総生産の前年度比増加率)は、名目で+2.5%で、実質で+0.2%

### 〇1人当たり県民所得は3年連続のプラス

- ・1人当たり県民所得は、274万9千円(前年度比+7万1千円)で、前年度比+2.7%

令和5年度は、5月の新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、社会・経済活動の正常化が進んだこと等により、前年度に引き続きプラス成長となり、全体ではコロナ禍前の水準までにほぼ回復した。

### 【プラスの主な要因】

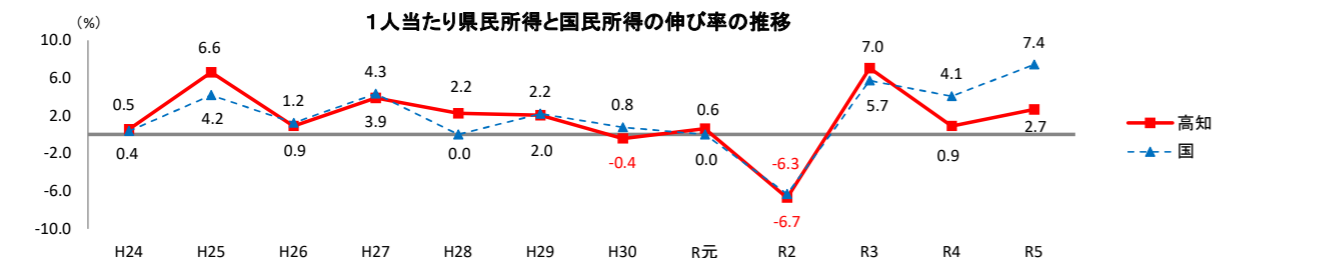
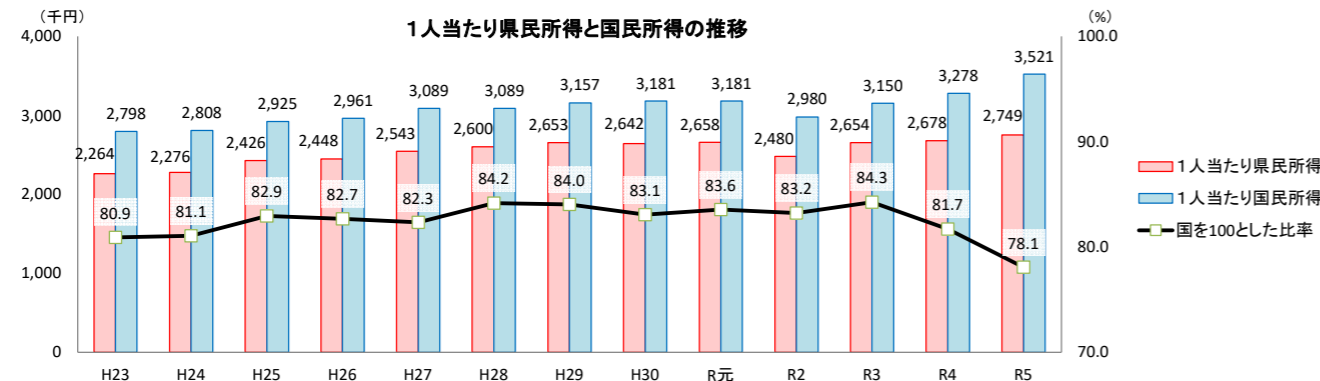
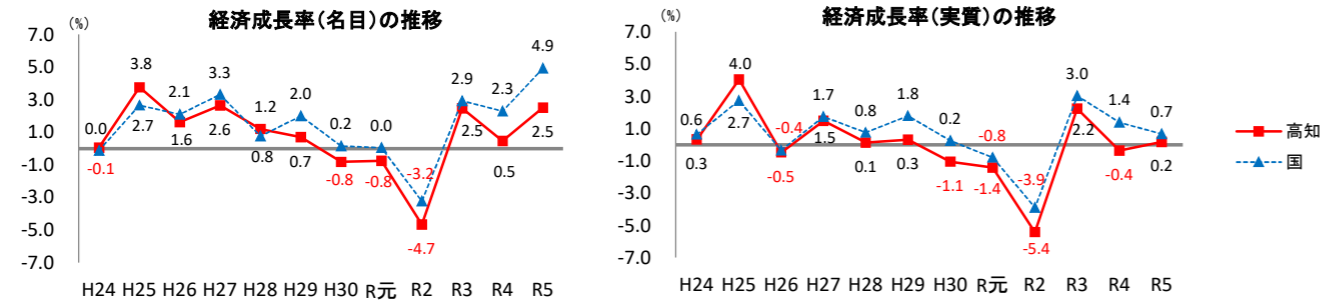
- 〇宿泊・飲食サービス業(増加寄与度:+0.80%)  
全国的に人流とインバウンド需要が回復したことに加え、本県を舞台としたNHK連続テレビ小説「らんまん」等の効果により県外観光客入込数が過去最多となったことで、総生産が増加
- 〇卸売・小売業(増加寄与度:+0.53%)  
人流とインバウンド需要の回復や外出機会が増加したことで、「小売業」の総生産が増加
- 〇金融・保険業(増加寄与度:+0.48%)  
事業承継や企業買収等の融資により貸出金残高が増加したことで、総生産が増加

### 【マイナスの主な要因】

- 〇教育(増加寄与度:△0.31%)  
令和5年度から公務員の定年延長が実施されたことに伴い、退職手当の対象者が減少したことで、総生産が減少
- 〇建設業(増加寄与度:△0.24%)  
建築資材価格の高騰に伴う販売価格の上昇等による住宅着工戸数の減少や、公共関連の大規模な建築工事の終了等により、総生産が減少

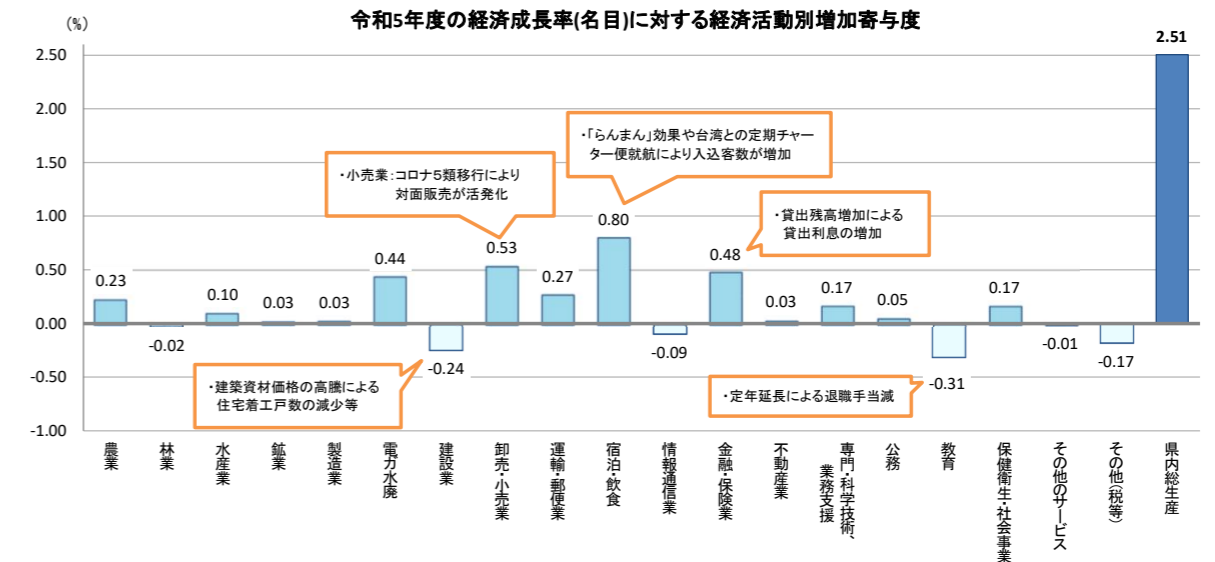
		県					国				
		令和元年度(2019)	令和2年度(2020)	令和3年度(2021)	令和4年度(2022)	令和5年度(2023)	令和元年度(2019)	令和2年度(2020)	令和3年度(2021)	令和4年度(2022)	令和5年度(2023)
県(国)内総生産	名目	(億円) 24,390	23,252	23,826	23,935	24,535	5,568,007	5,387,878	5,545,824	5,672,689	5,951,843
		(%)	-0.8	-4.7	2.5	0.5	2.5	0.0	-3.2	2.9	2.3
実質	名目	(億円) 23,847	22,554	23,057	22,969	23,007	5,501,172	5,286,570	5,446,723	5,521,705	5,557,843
		(%)	-1.4	-5.4	2.2	-0.4	0.2	-0.8	-3.9	3.0	1.4
県(国)民所得	名目	(億円) 18,587	17,147	18,152	18,094	18,318	4,024,378	3,759,929	3,953,163	4,095,504	4,377,775
		(%)	-0.5	-7.7	5.9	-0.3	1.2	-0.2	-6.6	5.1	3.6
1人当たり県(国)民所得	名目	(千円) 2,658	2,480	2,654	2,678	2,749	3,181	2,980	3,150	3,278	3,521
		(%)	0.6	-6.7	7.0	0.9	2.7	-0.0	-6.3	5.7	4.1

資料：内閣府「2023年度(令和5年度)国民経済計算年次推計」



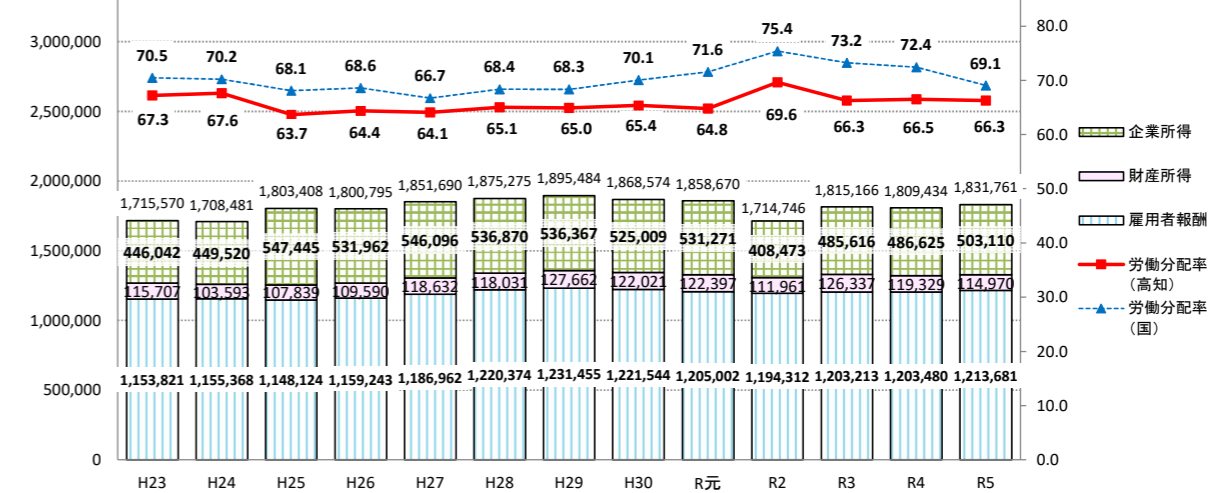
## 2. 県内総生産(生産側)[総生産額(付加価値額)=産出額-中間投入額(原材料費等)]

・「教育」や「建設業」などの産業で総生産が減少したものの、「宿泊・飲食サービス業」や「卸売・小売業」などの産業で総生産が増加したことで前年度と比べて2.5%プラスとなった



## 3. 県民所得(分配側)

・財産所得は減少したものの、企業所得及び雇用者報酬が増加したため、前年度と比べて1.2%プラスとなった  
・労働分配率(県民所得に占める雇用者報酬の割合)は0.2ポイント減少



※労働分配率とは、県民所得(=雇用者報酬、財産所得、企業所得)に対する雇用者報酬の占める割合のこと。ただし、個人事業主の所得は企業所得に算入され、雇用者報酬には算入されない。したがって、個人事業主の割合が全国で最も高い本県では、労働分配率が相対的に低くなる傾向にある。

## 4. 県内総生産(支出側)

・地方政府等最終消費支出及び県内総資本形成が減少したものの、民間最終消費支出が増加したため、前年度と比べて2.5%プラスとなった

